

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

私は9ヶ月間の留学を通して、大きく5つのことを学びました。1つ目は英語力についてです。私が留学したラトガース大学は学校側が寮を指定するため、自動的に留学生が同じビルの中に住むこととなります。それによって留学生間の繋がりが強くなると同時に、英語力の差も一目瞭然でした。私のルームメイトはフランス人が2人とフランス語も話せるコロンビア人1人の計4人での生活でした。その3人は最初から英語が達者で、思っていることをなかなか伝えられず、またその劣等感から口数が減り、あまりコミュニケーションを取れない状況がしばらく続きました。他国からの留学生は圧倒的英語力を持つのと裏腹に、日本人はなかなか輪に溶け込むことができない印象を強く受けました。ルームメイトとは一緒に過ごしている時間が多いため、会話の中にパターンを見出し、徐々に話せるようにはなっていました。ネイティブスピーカーの英語には未だに戸惑うことは多いです。近年ではグローバル化の影響により、昔よりも留学しやすい環境が整い、多くの日本の大学生が留学を経験しています。しかし、やはり日本人の英語力の低さは明らかであり、国をもってその問題に取り組んでいかなければならないと強く感じました。また、日本人の英語力の低さは、英語を話せないと言う劣等感から来るものであり、今後移民や外国人観光客が増えていくことを踏まえれば、県をあげて外国人がいることが普通という環境づくりが必要と考えました。山梨県の観光業を見ると地域密着型であることが明らかで、地元の人々の力なしでは観光業は成り立つことができません。地元民の方々にも協力していただけるように、英語の授業や外国人観光客と関わる機会を増やしていければ、観光業にいい影響が出てくると考えます。

2つ目は授業についてです。私は前期でジャーナリズム・メディア学の専攻に沿った授業を中心に受講し、後期はフランス語・労働学・映画の中で見るアフリカ系アメリカ人の歴史・バロック彫刻について学びました。私は将来ゲストハウスの経営を目指しており、それに役立つ知識や情報をこれらの授業を通して学ぶことができました。労働学はアメリカが基準となっていますが、それでも日本に通ずることは多く、皆が心地よく働くための環境づくりや労働組合の仕組みなどのシミュレーションを利用して学んでいきました。フランス語に関してはたった4ヶ月弱の授業期間でしたが、4技能プラスコミュニケーションを身につけることができました。都留文科大学でも1年間スペイン語を学んでいましたが、その時と大きく違うのはどれだけ体に染み込ませるかの訓練だと思いました。私のクラスは10人ほどの少人数のクラスで、毎回の発言はもちろん、課題もたくさんありました。また、ルームメイトの1人がフランス語のチューターをやっていたこともあり、細かいことでも質問できる環境があったことがフランス語を学ぶ上で大きな役割を果たしたと実感しています。アメリカの言語の教育は、文法や読み書きに集中するのではなく、たくさん話してコミュニケーションを図らせることを中心にして

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

います。アメリカで生活していて強く思うことは、文法よりも何よりもまず、言語は相手に伝わらなければ意味がないということです。形式張った日本の教育は、こういった面で弱みになるのだと感じました。

3つ目は異文化についてです。ラトガース大学は特に日本人が少なかったため、異文化を感じる瞬間が幾度となくありました。日本人は察する文化であると同時に、それを相手にも無意識に強要しているのです。私は、言わなくても自然と感じ取って、行動を変えてくれるだろうと期待をしてしまうことが多々あり、それで苦しい思いを何度もしました。反対に欧米圏は伝える文化であり、言わなければわからないというのが根本にあります。もちろんこれは一般的な話であり、察することのできる人もいます。しかし、多くの人の場合は、相手が思っていることを伝えてくれるのを待っているのです。オリンピックを控える日本にとって、外国人観光客の増加は必須です。もちろん、外国人も日本の文化をある程度理解はしてきますが、言語の優越性は文化の優越性にも影響するため、自己の文化を前面に押し出してくる方もいます。そんな中で外国人をターゲットにした観光業をスムーズに行うのであれば、必要なことをしっかりと伝えられる能力が必要となります。その場の禁止事項や行うべきことに関しては、うるさいくらい表記していても間違いはないです。日本人も外国人観光客もストレスなく過ごせるような工夫は事前に行うべきだと考えます。

4つ目は日本が好きな外国人についてです。留学生が多かったラトガース大学では、新しい人と出会うたびに「どこから来たの?」と問いかけられます。その際、日本と答えると、毎度のようにポジティブな印象が返ってきます。これは日本の大きな強みだと思います。どの国でもマイナスイメージが一つや二つが出てくる中、日本は綺麗・人が優しい・料理が美味しいなどとプラスな意見のみ出てきます。また、日本に行きたいと話す人の数も圧倒的です。ただ悲しいことに、私たち日本人留学生はその人たちに、日本人は英語を話せないからそこを知っておいてもらわなければいけない、と付け足さなくてはならないのです。日本人の英語能力の低さは世界的に見ても類を見ないほどです。日本人の英語力を底上げするには、英語の教育はもちろんですが、やはり工夫が一番必要なのだと強く感じます。まず、英語の4技能の中で日本人が1番苦手なのはスピーキングです。瞬時に文章を作り上げることはとても難しく、私自身、留學生活の中で一番苦勞しました。そのスピーキングを補うために、英語の観光ブックやポップなど、英語の文字を使ってコミュニケーションを取る形が一番効果的だと考えます。英語が得意でない代わりに、何か別のものに力を入れて補うということがとても重要です。そうすることにより、外国人の方々も何度も英語を話すストレスを抱えなくて済みます。

5つ目は観光についてです。私は9ヶ月の留學期間中に様々な都市に足

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

を運びました。ニューオリンズ、マサチューセッツ(ボストン、ストックブリッジ)、フロリダ、ワシントンD.C.、フィラデルフィア、ロサンゼルスです。そして、ニューヨークには足繁く通いました。その中で見えてきたものは、その土地の魅力を大いに生かし、どの都市にもちゃんと多くの観光客がいるということです。そして外国人観光客向けに設備・制度が充実しています。スペイン語、中国語はもちろんですが、日本語のガイドブックまで用意されているところが多く見受けられました。加えて、アメリカの観光業はSNSを活用しているということも大きな特徴です。美術館では写真撮影を全面的に可能とし、お店側もそれをわかっているため、SNSで映えるような工夫をしています。現代社会において、メディアの力はとても大きいことが明らかです。観光地として名を馳せるためには、そういったインフルエンサーたちの力を得ることなしでは難しいでしょう。山梨の観光業においては、地元民の方の協力を得る機会が多いと思いますが、ご高齢の方には現代のシステムは理解され難いです。しかし、スマホ・SNSを駆使することにより、現代社会に対応ができるのだと私は強く思います。加えて、アメリカではツアーも充実していました。観光名所に足を運べば、様々な人がツアーを提供しており、歴史やその土地にまつわることなど多くの情報を持っているため、観光客はとても楽しんでいる様子でした。しかし、アメリカのそういったツアーには詐欺が多いのもまた事実であるため、私たち観光客は用心深くなくてはなりません。日本の安全性の高さは世界でも屈指のため、そのようなツアーを敢行することができれば、外国人の興味も引けることでしょう。また、日本の強みとしては、列車やバスを中心とし、何事もオンタイムで来るということです。外国人観光客は予定が立てやすく、wi-fi環境の弱い日本でも、自国で予定を立てさえすればスムーズに動くことができるという大きなアドバンテージを持っています。加えて、日本人の持つ知識力は外国人の曖昧な情報力と圧倒的な差があるため、英語さえ少しできれば、外国人のサポートへの強みになるでしょう。例えば、私がニューヨークのメトロを利用した時のことです。メトロはとても複雑で、特定の入り口から入らないと、利用したい線に乗れないということがあります。私はそれを知らずに改札を抜けたところ、向こう側に乗りたいラインはあるのに行けないということで袋小路になってしまいました。近くにいた駅員に聞いたところ、今いる場所の端に行けば向こう側に行けるということで何度も歩いてみましたが、結局は行けず。観光という時間がない中で間違った情報を与えられたことにより、時間のロスをしてしまいました。日本人は、曖昧な情報を伝えるよりも、少し時間をかけてでも正しい情報を伝えると思います。日本人の良さも前面に出して、外国人のニーズにあった観光業を発展していけたら、日本人にとっても外国人にとっても過ごしやすい時間になるのだと強く思います。

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

9ヶ月の留学期間を通して強く思ったことは、日本がいかに素晴らしい場所であるかということです。私の母語が日本語だということを除いたとしても、日本の料理は美味しく、安く、新鮮で、夜1人で歩いても安全という治安の良さを持ち、真面目な国民性からおもてなしの心があり、常に前に前に進んでいます。その素敵な日本をより知ってもらうために、そして私がお世話になっている山梨の発展のために、観光業を活性化させていけたらと思います。

写真

①ルームメイトの写真（右からコロンビア人、フランス人2人、私）



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

② 仲良くなった友人たちとの最後の旅行



③ 留学中5回以上は訪れた、アメリカの三大美術館の一つ、メトロポリタンミュージアム（通称：The MET）



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

④学校のイベントでいろいろな人に出会います。仲良くなった友人と出会うって交友を深めたのもイベントを通してが多いです。



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

⑤ 旅行した先のニューヨークからマンハッタブリッジ（1枚目）とロサンゼルスからハリウッドサイン（2枚目）



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

⑥ ラトガース大学の外観です。1枚目はマスコットの Scarlet Knight、2枚目はキャンパスセンターから見た景色です。

